

HiKOKI

取扱説明書

用途

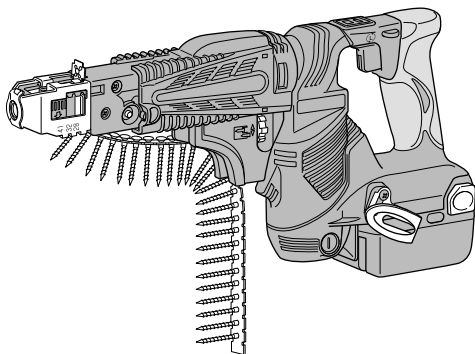
- 石こうボードと木下地の締結
- 石こうボードと鋼製下地 (0.8 mm 以下) の締結

コードレス連結ねじドライバ

14.4 V WF 14DSL

18 V WF 18DSL

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



WF 14DSL

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

はじめに

コードレス工具の安全上のご注意	1
本製品の使用上のご注意	5
USB 機器との接続時のご注意	7
リチウムイオン電池の使用上のご注意	7
各部の名称	9
仕様	11
別売部品	13

使い方

電池残量表示について	14
フックの使い方	14
ガイドブロックの位置設定	15
連結ねじの取付け・取りはずし	16
ねじの締付け深さの調整	17
正逆転ボタンについて	17
締付け作業上のご注意	18
ビットの取りはずし・取付け	19
ねじを締める / はずす	21
蓄電池を充電する	23
USB 機器を充電する	25
充電器使用上のご注意	27

その他

保守・点検	28
ご修理のときは	裏表紙

警告、 注意、 注 の意味について

 **警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

 **注** : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、 **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてを良くお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。

この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。

指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。

② 正しく充電してください。

- 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源、昇圧器などのトランス類では使用しないでください。

異常に発熱し、火災の恐れがあります。

- 充電器の使用温度範囲外では、蓄電池を充電しないでください。正しく充電されないばかりか、蓄電池の寿命が短くなります。

また、破裂や火災の恐れがあります。

- 蓄電池は、換気の良い場所で充電してください。充電中、蓄電池や充電器を布などでおおわないでください。破裂や火災の恐れがあります。

- 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電や火災の恐れがあります。

③ 蓄電池の端子間を短絡（ショート）させないでください。

釘袋などに入れると、短絡（ショート）して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。

⚠ 警告

- ④ **蓄電池の内部に、水のような導電性の液体を入れないでください。**
発熱・発火・破裂の恐れがあります。
- ⑤ **感電に注意してください。**
ぬれた手で、充電器の電源プラグに触れないでください。
感電の恐れがあります。
- ⑥ **作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。**
 - 工具本体・充電器・蓄電池は、雨の中や湿った場所で使用したり、放置・保管をしないでください。感電や発煙の恐れがあります。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
 - 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある所での使用・充電・保管をしないでください。発火や火災の恐れがあります。
- ⑦ **保護メガネを使用してください。**
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削した物や粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。
- ⑧ **加工する物をしっかりと固定してください。**
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工する物が飛んで、けがの原因になります。
- ⑨ **次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。**
 - 使用しない、または、修理・調整・点検する場合。
 - 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑩ **不意な始動は避けてください。**
スイッチに指を掛けて運ばないでください。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑪ **指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**
この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
事故やけがの原因になります。
- ⑫ **蓄電池を火の中に投入しないでください。**
破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

⚠注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
 - 作業者以外、コードレス工具や充電器のコードに触れさせないでください。けがの原因になります。
 - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
 - 安全に責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
 - 工具本体や蓄電池を、温度が 50℃ 以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
発煙、発火の恐れがあります。
- ⑤ **作業に合ったコードレス工具を使用してください。**
 - 小形のコードレス工具やアタッチメントは、大形のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネckレスなどの装身具は、着用しないでください。
回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
滑りやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。
回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ **充電器のコードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って充電器を運んだり、コードを引いてコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
 - コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ⑧ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
転倒して、けがの原因になります。
- ⑨ **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、良く切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。

⚠注意

- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
- 充電器を使用する前に、電源プラグやコードを点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- 充電器に延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。

⑩ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。

スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。

⑪ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⑫ 油断しないで十分注意して作業をしてください。

- コードレス工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。

⑬ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。

⑭ コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。

- サービスマン以外の人、工具本体・充電器・蓄電池を分解したり、修理・改造をしないでください。発火したり、誤作動して、けがの原因になります。
- コードレス工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレス連結ねじドライバとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- ① 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
埋設物があると先端工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ② 使用中は、振り回されないよう機体を確実に保持してください。
確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ③ 使用中は、ビットやスライダなどに手や顔などを近づけないでください。
けがの原因になります。
- ④ 誤って落としたり、ぶつけたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑤ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
- ⑥ 工具本体、および蓄電池の端子部（蓄電池取付部）に変形が生じた場合は、使用しないでください。
蓄電池を取付けた場合に短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。
- ⑦ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - ・使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
 - ・作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
 - ・使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。短絡（ショート）して、発煙・発火などの恐れがあります。

⚠ 注意

- ① 工具類（ビットなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
確実にしないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② 締付け深さの調整時は、スイッチを切ってください。
回転させたまま締付け深さを調整すると、けがの原因になります。

⚠注意

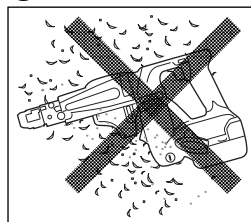
- ③ ケイカル板（ケイ酸カルシウム板）、コンパネ・合板へのねじの締付け、取りはずしはしないでください。
- ④ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
材料や工具本体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑤ 工具本体の外枠にある風穴に異物を入れないでください。
モーターがロックし、故障の原因になります。
- ⑥ スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。
- ⑦ 蓄電池は確実に取付けてください。
確実でないと、蓄電池が抜け落ちて、けがの原因になります。
- ⑧ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てたり、火の中へ入れないでください。
- ⑨ 蓄電池は子供の手の届かない所に保管してください。
- ⑩ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

本製品はモーター部に強力な永久磁石を使用しております。この永久磁石による工具本体への切りくず等の付着や電子機器への影響について、さらに次の注意事項を守ってください。

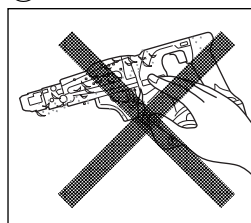
⚠注意

- ① 金属の切りくずが散乱した作業台、作業場などに機体を置かないでください。
切りくずが付着し、けがや故障の原因になります。
- ② 切りくずが付着した機体に、触れないでください。
付着した切りくずは、ハケなどで取り除いてください。
けがの原因になります。
- ③ ペースメーカーなど電子医療機器を装着している方は、本製品を使用したり、近づかないでください。
正常な作動を損なう恐れがあります。
- ④ 携帯電話などの精密機器、磁気カード類や電子記録媒体を機体に近づけないでください。
誤作動、故障、記録の破損などの原因になります。

①



②



○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

USB 機器との接続時のご注意

本製品に標準付属 (NN 仕様を除く) されている充電器には、電動工具用リチウムイオン電池を充電する以外に、一般の USB 機器を充電できる USB 端子を装備しています。

USB 機器を充電する際は、以下の内容を守ってください。

予期できない問題が生じた場合、接続した USB 機器の内部に保存されているデータが破損したり消失する可能性があります。万一の場合に備えて、必ず事前にバックアップをしてください。

なお、USB 機器との接続において、USB 機器の内部に保存されているデータの破損または消失および接続機器の故障については、いかなる場合においても弊社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品にはリチウムイオン電池が標準で付属されております。(NN 仕様を除く)
リチウムイオン電池の寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能が付いています。

本製品を使用中、スイッチを引いたままでも下記 ①、②、③ の場合、モーターが停止する場合がありますがこれは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
速やかに充電してください。
- ② 工具本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
いったんスイッチをはなし、過負荷の原因を取り除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。
蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに次項に述べる注意事項を守ってください。

警告

蓄電池の液漏れ、発熱・発煙・発火を未然に防ぐため以下の内容を必ず守ってください。

- ① 蓄電池に切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - 作業中に切りくずが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 作業中に機体に付いた切りくず、ほこりが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 使用しないときに切りくず、ほこりが降りかかる場所に蓄電池を放置しないでください。
 - 保管時、蓄電池は切りくず、ほこりを落とし、金属製の部品 (ねじ、釘など) とは別々にしてください。

⚠ 警告

- ② 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ③ 外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ④ (+) (-) を逆にして使用しないでください。
- ⑤ 蓄電池を直接、コンセントや車のシガーライターソケットに接続しないでください。
- ⑥ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。
- ⑦ 蓄電池を電子レンジに入れたり、高圧容器に入れるなど過熱、高圧を与えないでください。
- ⑧ 蓄電池が液漏れしたり、悪臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑨ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑩ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭を発したり、発熱・変色・変形、その他異常に気が付いたときは、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店にご相談ください。

⚠ 注意

- ① 蓄電池が液漏れして液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が液漏れして液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。

蓄電池はリサイクルへ

蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、お買い求めの販売店にご持参ください。



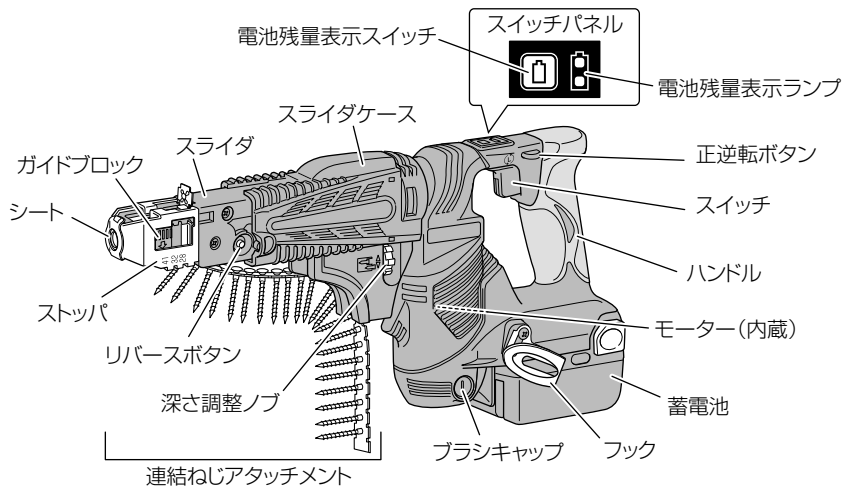
○ 新しい蓄電池は、弊社純正品をご使用ください

弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。

各部の名称

工具本体

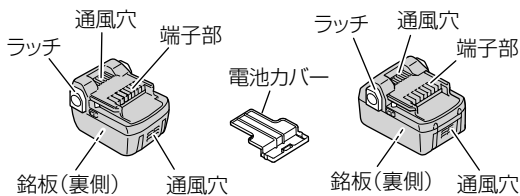
【イラストは WF 14DSL です】



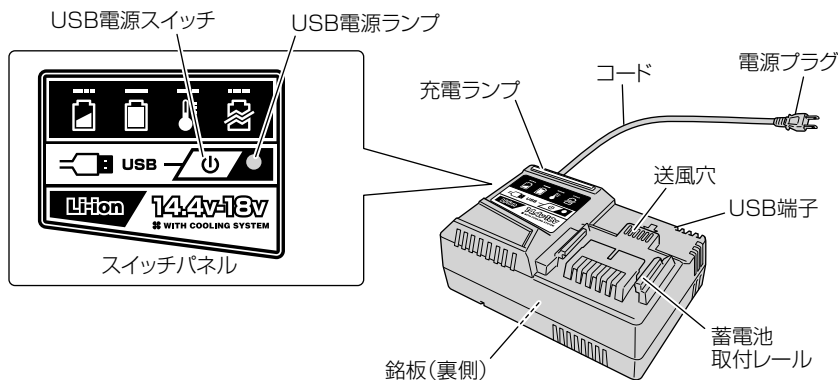
蓄電池

14.4V(BSL1430)

18V(BSL1830)



充電器



標準付属品

品名・形名	工具本体仕様	WF 14DSL		WF 18DSL	
		LSCK	NN	LSCK	NN
蓄電池		BSL1430 1 個 (本体装着)	—	BSL1830 1 個 (本体装着)	—
充電器 UC 18YSL3		1 台	—	1 台	—
プラスドライバビット (No.2、長さ 136 mm)		1 本 (本体装着)			
シート		3 個 (本体装着 1、予備 2)			
収納ケース		1 個	—	1 個	—
電池カバー		1 個	—	1 個	—

仕 様

1. 工具体

形 名	WF 14DSL	WF 18DSL
能 力 (使 用 ね じ)	木下地用(ボード用ねじ) : 長さ 25 ~ 41 mm 鋼製下地用(ドライウォール用ねじ) : 長さ 25 ~ 41 mm	
無 負 荷 回 転 数 [気温 20℃満充電時]	4,200 min ⁻¹ { 回 / 分 }	
モ ー タ ー	直流モーター	
蓄 電 池	円筒密閉形リチウムイオン電池	
電 池 電 圧	14.4 V	18 V
工 具 本 体 寸 法 全 長 × 全 高	379 mm × 193 mm (蓄電池装着時)	399 mm × 193 mm (蓄電池装着時)
使 用 ビ ッ ト	プラスドライバビット (No.2、長さ 136 mm)	
質 量	2.0 kg (蓄電池装着時)	2.1 kg (蓄電池装着時)
使 用 可 能 蓄 電 池	BSL 14xx シリーズ	BSL 18xx シリーズ および マルチボルトタイプ蓄電池
残 量 表 示 ラ ン プ	赤色 LED	

2. 蓄電池

形 名	BSL 1430	BSL 1830
種 類	円筒密閉形リチウムイオン電池	
電 池 電 圧	14.4 V	18 V
容 量	3.0 Ah	
冷 却	対応	
使 用 可 能 充 電 器	スライド式リチウムイオン電池対応充電器	

3. 充電器

形 名		UC 18YSL3		
充 電 可 能 蓄 電 池		リチウムイオン電池 14.4 V (BSL 14xxシリーズ)、18 V (BSL 18xxシリーズ)、 マルチボルトタイプ蓄電池		
入 力 電 源		単相交流 50 / 60 Hz 共用 電圧 100 V		
蓄 電 池	充電電圧	14.4 V または 18 V		18 V
	タ イ プ	標 準	薄型軽量	マルチボルト
	充電時間 ^{※1} [気温20℃時]	BSL 1460 : 約 38 分 BSL 1860 : 約 38 分 BSL 1450 : 約 32 分 BSL 1850 : 約 32 分 BSL 1440 : 約 26 分 BSL 1840 : 約 26 分 BSL 1430 : 約 20 分 BSL 1830 : 約 20 分	BSL 1430C : 約 30 分 BSL 1830C : 約 30 分 BSL 1425 : 約 25 分 BSL 1825 : 約 25 分 BSL 1420 : 約 20 分 BSL 1820 : 約 20 分 BSL 1415 : 約 15 分 BSL 1815 : 約 15 分	BSL 36A18 : 約 32 分 BSL 36B18 : 約 52 分 BSL 36C18 : 約 20 分
	充電電流	8.0 A	6.0 A	8.0 A
U S B 端 子	充電電圧	5 V		
	充電電流	2 A		
コ ー ド		2 心ビニールコード		
質 量		0.6 kg		
使 用 温 度 範 囲 ^{※2}		- 10 ~ 40℃		
冷 却		対応 (ファン付き)		
ブ ザ ー 音		あり		

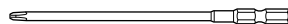
※ 1 : 蓄電池の充電時間は、使用環境や蓄電池の状態により長くなるときがあります。

※ 2 : 周囲温度が0℃未満のときは、充電時間が長くなります。

別売部品（別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。）

1. プラスビット（5 本入）

（No.2、長さ 136 mm）



2. 連結ねじドライバ用テープ連結ねじ

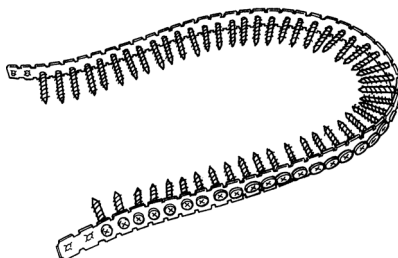
この機体はテープ連結ねじを使用します。

ねじ締め作業の用途に合わせて適切なねじをお選びください。

ねじは連結ねじドライバをお買い上げの販売店でお求めください。

注 指定外のねじは使用しないでください。

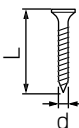
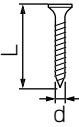
異常締め付け（ねじ倒れ・浮き）、故障（ねじづまり・ビットの摩耗）の原因になります。



[テープ連結ねじ]

1 連：50 本

（寸法単位：mm）

用 途	ねじ名称 （表面処理）	形状	軸径 d	長さ L	形 名
石こうボードと 木下地の締結	ボード用ねじ （ディスゴ）		3.9	25	SH 3925D
				28	SH 3928D
				32	SH 3932D
				41	SH 3941D
石こうボードと 鋼製下地（0.8 mm 以下） の締結	ドライウォール用ねじ （ディスゴ）		3.5	25	SD 3525D
				32	SD 3532D
				41	SD 3541D

電池残量表示について

電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

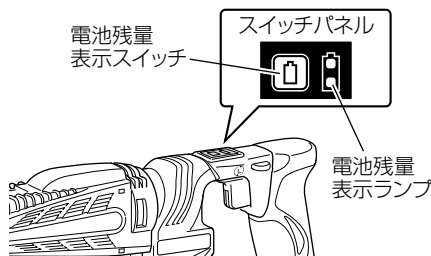
電池残量表示スイッチから指をはなすとランプは消灯します。

ランプの点灯状態と電池残量は以下のようになっています。

ランプの点灯状態	電池残量
	十分電池残量があります。
	電池残量が半分に なっています。
	非常に少なくなっています。早めに充電してください。

電池残量表示は、使用環境、電池特性等で多少異なりますので、目安として見てください。

注 電池の消耗を少なくするため、電池残量表示スイッチを押している間のみ、ランプが点灯します。



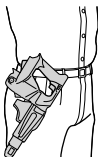
フックの使い方

フックは、作業の合間に腰ベルトなどにつり下げる機能を持っています。左右に付け替えて使用することができます。

⚠ 警告

フックを使用するときは、機体が落下しないように、しっかりと掛けてください。

使用例

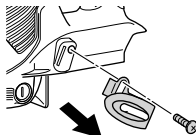


⚠ 注意

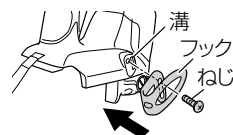
- フックを腰ベルトに掛けて機体を運ぶときは、先端工具を取りはずしてください。
- フックはしっかりと取付けてください。

1 フックをはずす

プラスドライバーを使用してねじをはずします。



2 付け替えてねじを締付ける

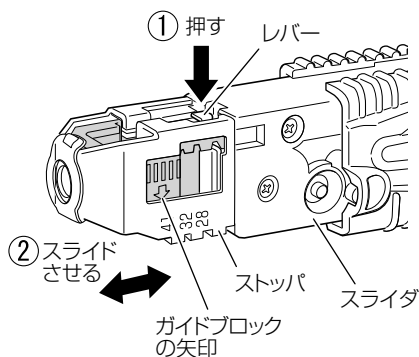


ガイドブロックの位置設定

使用するねじの長さに合わせて、ガイドブロックの位置を変えます。

1 レバーを押しながら、ガイドブロックの矢印部を指でスライドさせます。

2 ガイドブロックの矢印とストップの数字を使用するねじ長さに合わせます。



ストップの数字とねじの長さは右表を参照してください。

ストップの数字	ねじの長さ
28	25 ～ 28 mm
32	32 ～ 35 mm
41	38 ～ 41 mm

連結ねじの取付け・取りはずし

⚠ 警告

連結ねじの取付けや取りはずしの際、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具体体から抜いてください。

取付け

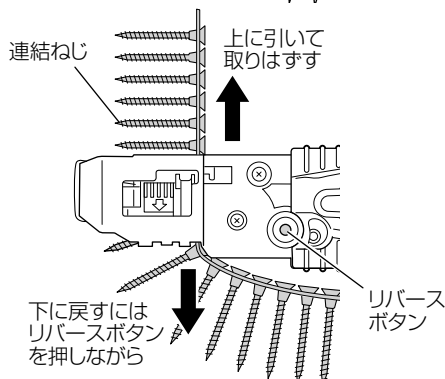
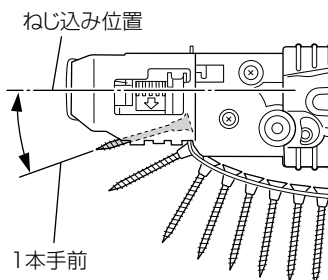
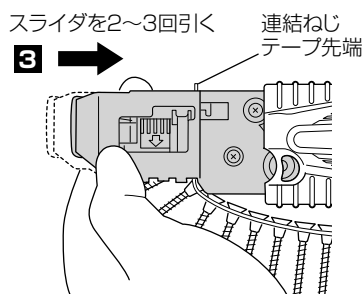
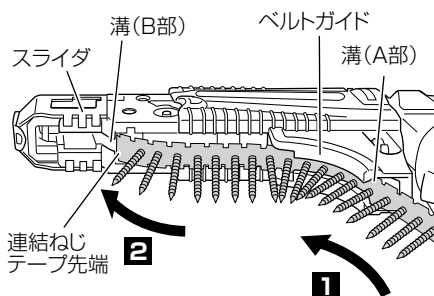
- 1 連結ねじのテープ先端をベルトガイドの溝 (A部) にさし込みます。
- 2 テープ先端をスライダの溝 (B部) にさし込みます。
- 3 連結ねじが、ねじ込み位置の 1 本手前になるようにスライダを 2 ~ 3 回引きます。

注 連結ねじは確実にセットしてください。

確実にセットしないと、ビットでボード表面を傷つけたり (送り不足)、ねじをムダにしたり (送りすぎ) する原因になります。

取りはずし

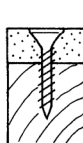
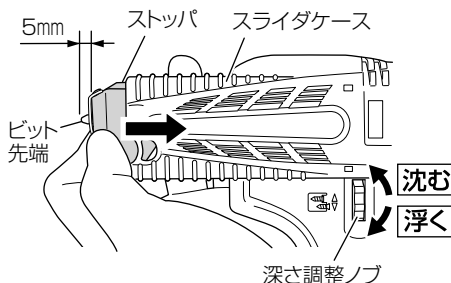
- 1 連結ねじを取りはずすときは、上の方に引いて取りはずします。
- 2 リバースボタンを押して、下の方向に戻すこともできます。



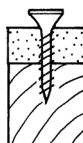
ねじの締付け深さの調整

1 スライダをスライダケースの奥まで押し込んで、ビット先端が約 5 mm 出るように深さ調整ノブを回して調整します。

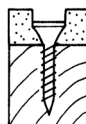
2 ねじを試し打ちし、微調整します。ねじの頭が浮きすぎるときは、深さ調整ノブを沈む方に回します。ねじの頭が沈むときは、深さ調整ノブを浮く方に回します。



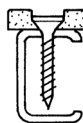
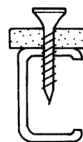
適正



浮きすぎ
(沈む方に回す)



沈みすぎ
(浮く方に回す)



正逆転ボタンについて

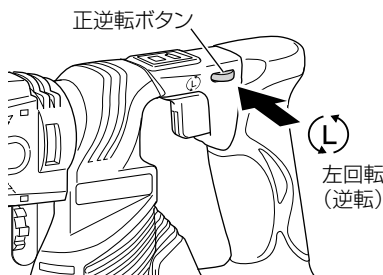
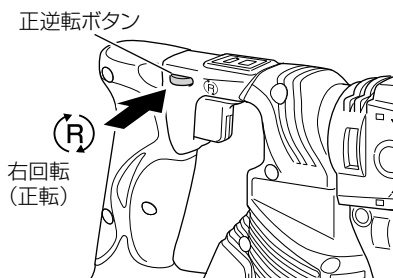
- 注**
- ご使用前には必ず回転方向を確認してください。
 - 正転・逆転の切り替えはモーターの回転が停止した状態で行ってください。
- 回転中に切り替えますと故障の原因になります。

正逆転ボタンは (R) 側を押すと右回転 (正転) し、(L) 側を押すと左回転 (逆転) します。

中間の位置では、スイッチが入りませんので、しっかり押し込んでください。

スイッチを引くとモーターが回りますが、ビットは回転しません。

ビットの先端がねじ頭部の溝に当たり、押し付けられると、ビットが回転します。

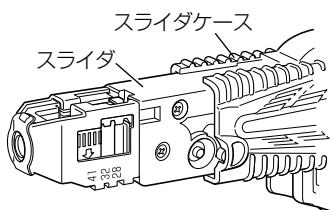


締付け作業上のご注意

●スライダがスムーズに動かなくなったときは

防錆潤滑剤「CRC 5-56」などをスライダやスライダケースのスライド面、スライダ内部に吹き付けてください。

注 特に上向き作業は石こうボードの粉をかぶりやすいので、定期的にスライド面、スライダ内部の掃除を行いながら作業してください。

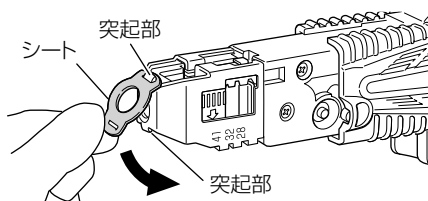


●シートについて

シートは、材料を傷つけないためのクッションになっています。

シートが損傷して使用できないときは、付属のシートに交換してください。

シートの取付けは、ストッパの2か所の突起部にシートの穴をはめ込んでください。



●連続作業について

連続的に作業する際は、蓄電池の交換時に工具本体を15分程度休ませてからご使用ください。蓄電池の交換後すぐに作業を続けるとモーター、スイッチなどの温度が高くなり、故障の原因になります。

●機体の保持と押し付け力について

ねじに対してまっすぐになるように、機体を両手で確実に保持してください。また、先端工具を必要以上に押し付ける必要はありません。先端工具にこじる力や押し付ける力が過度にかけると、機体が故障する原因になりますのでご注意ください。

●ねじの取扱い方

- 注**
- ねじの梱包箱、連結ねじ単体いずれの場合も扱いをていねいにしてください。落としますと、連結テープからねじがはずれたりし、ねじ送り不良となる場合があります。
 - ねじは長時間外気や直射日光にさらさないでください。さびの発生や、連結テープに不具合が生じる場合がありますので、使用しないときはねじ梱包箱などに入れておいてください。

ビットの取りはずし・取付け

⚠ 警告

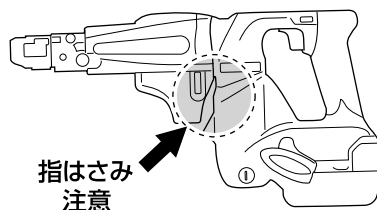
ビットの取りはずしや取付けの際、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、蓄電池と連結ねじを工具本体から抜いてください。

注 必ず連結ねじドライバ専用の弊社指定のプラスドライバビット (No.2、長さ 136 mm) を使用してください。弊社指定のビット以外では、ねじ浮きやねじ送り不良の原因になります。

作業前にビットが損傷していないか必ず点検し、ビットの損傷などにより交換する必要がある場合は、以下の手順で新品のビットと交換してください。

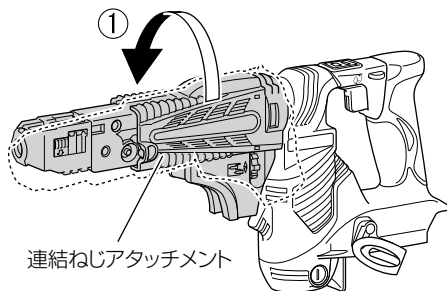
⚠ 注意

- ねじ締め、ねじはずし直後のねじやビットは高温になっているので触れないでください。
- ビット交換時は、ビットの抜け落ちがないように確実に取付けてください。
- 連結ねじアタッチメントへの取りはずし・取付けの際は、下図の部分に指を挟み込まないように注意してください。



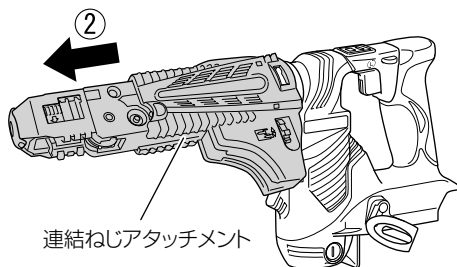
連結ねじアタッチメントの取りはずし

1 連結ねじアタッチメントを矢印①の方向に回転させます。



2 矢印②の方向に引き、取りはずします。

注 アタッチメント取付け口付近に石こう粉が付着しないように、こまめに清掃するようにしてください。石こう粉が付着すると、取りはずしにくくなります。



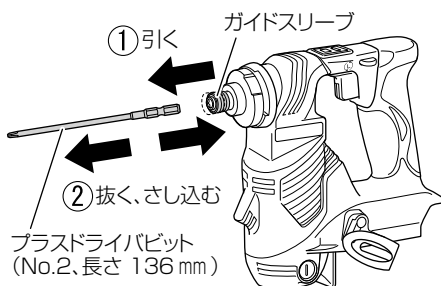
ビットの取りはずし・取付け

ビットは、次の手順で確実に取付けてください。

- 3** ガイドスリーブを先端側に引き、古いビットを抜いてください。

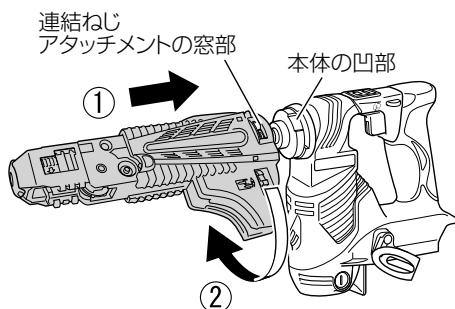
- 4** ガイドスリーブを先端側に引き、新しいビットをさし込み、ガイドスリーブをはなします。

注 ビットを取付け、ガイドスリーブが元の位置に戻らないときは、取付けが不確実です。ビットがソケットの六角穴の奥に突き当たるまで入れてください。



連結ねじアタッチメントの取付け

- 5** 連結ねじアタッチメントの窓部と本体側の凹部を合わせてさし込み、矢印②の方向に回転させます。



ねじを締める / はずす

● 建築内装の石こうボードの締付け作業

⚠ 警告

使用中に異常音や異常振動など機体の調子に異常を感じたときは、直ちにスイッチを切り、点検・修理に出してください。

⚠ 注意

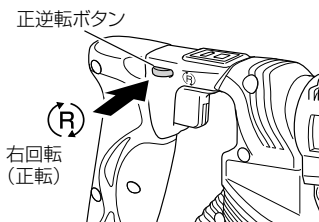
ねじ締め、ねじはずし直後のねじやビット、ガイドスリーブは高温になっているので触れないでください。

1 ねじを装てんする

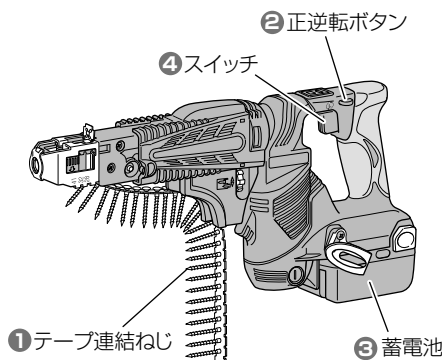
作業の用途に合った形状・寸法のテープ連結ねじを装てんしてください。
(P.16「連結ねじの取付け・取りはずし」参照)

2 回転方向を正転(℞)にする

- 正逆転ボタンを押して回転方向を正転(℞)にします。
- 中間の位置では、スイッチが入りませんので、しっかり押し込んでください。
(P.17「正逆転ボタンについて」参照)



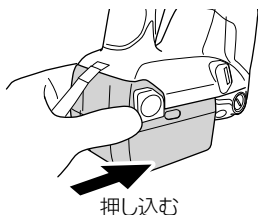
- 注**
- 締付けるときは、機体を対象物に対して垂直に押し付けてください。対象物に対し、機体が斜めになると、ねじの頭部を傷めたり、ビットの摩擦につながります。また、所定の締付け力がねじに伝わらず、ねじ浮きの原因になります。
 - 締付けるときは、締付け終了まで機体をしっかり押し付けてください。途中で押し付けをゆるめると、ねじ浮きの原因になります。
 - 締付けるときは、機体をたたくような押し付け方では行わないでください。
ねじ送り動作が不安定になる原因になります。
 - ねじの上にねじを締めるとねじが倒れたり、次のねじが送られませんので注意してください。
 - 空打ちの注意：
連続してねじを締めていると、ねじがなくなったのに気が付かず、そのまま使用することがあります。
空打ちすると、ビットで石こうボードを傷つけてしまいますので、ねじの残り本数を見ながら締付けてください。



3

蓄電池を取付ける

下図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。



隅打ち

壁から 15 mm の位置まで、隅打ちができます。

注 壁から 15 mm 未満での隅打ちや、壁にスライダケースを当てた状態での打込みは、しないでください。

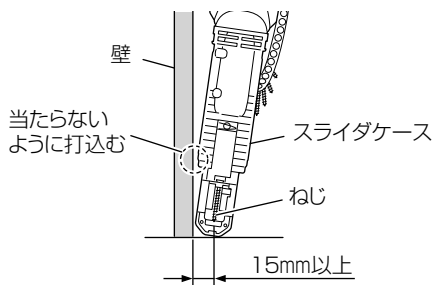
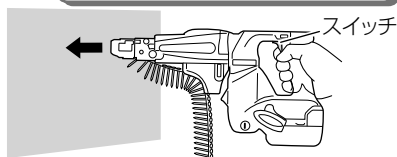
ねじの頭部を傷めたり、ビットの摩耗につながります。また、所定の締付け力がねじに伝わらず、ねじ浮き、機体の故障の原因になります。

4

スイッチを入れる

スイッチを引いたまま機体を対象物に対して垂直に押し付けると、ねじが自動的に送られ、ねじを締付けます。

スイッチを引いたまま押し付ける



アタッチメントを取りはずして…

(P.19「連結ねじアタッチメントの取りはずし」参照)

【隅打ち】

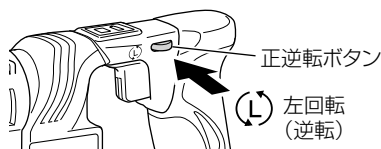
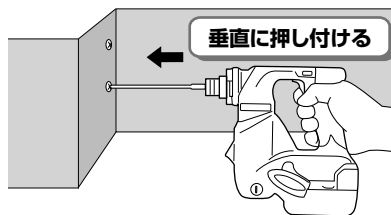
連結ねじアタッチメントを取りはずして、壁ぎわや柱の脇などの狭い箇所へ、ねじ締めを行うことができます。

また、締込み不足のねじを増し締めすることもできます。

【ねじの取りはずし】

回転方向を逆転 (L) にして、締付けたねじを取りはずすことができます。

ねじ頭部の溝に正しくビットをはめて、垂直に押し付けながらスイッチを引きます。または、スイッチを引いたまま、垂直に押し付けます。



蓄電池を充電する

ご使用前、新品時、長期間で使用にならなかったとき、残量が残りに少なくなったときは、次のように充電してください。

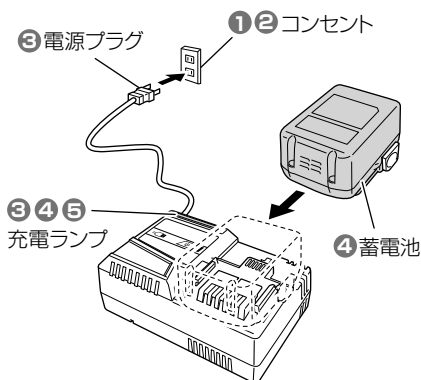
⚠ 警告

手順 ①、②については、充電器の電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

充電時間

BSL 1830 / BSL 1430 : 約 20 分

注 充電時間は使用環境や蓄電池の状態により長くなることがあります。



1 電源を確認する

この充電器は交流 100 V 用です。
200 V 電源や直流電源、昇圧器などの
トランス類を使用しないでください。

2 コンセントを確認する

コンセントがガタついたり、電源
プラグが抜け落ちてしまうときは、
接続しないでください。
そのまま使用すると危険です。

3 電源プラグをコンセントに さし込む

充電ランプが赤の点滅を繰り返します。
(P.24「充電ランプの表示について」参照)

4 蓄電池を充電器にさし込む

- 蓄電池をしっかりと突き当たるまで
さし込んでください。
- 充電を開始すると、充電ランプが青
に点滅あるいは連続点灯して、充電
容量の状態をお知らせします。

5 充電が終わったら

- 充電が完了すると、充電ランプが緑
に連続点灯し、ブザーが「ピー」と
6 秒鳴ってお知らせします。
- 電源プラグをコンセントから抜き、
充電器から蓄電池を抜き取ってくだ
さい。

●充電ランプの表示について

充電器には、充電状態を表示する「充電ランプ」が付いています。
各ランプの表示内容は以下のようになっています。

ランプ	ランプの表示			表示内容
充電ランプ (赤/青/緑/紫)	充電前	赤点滅	0.5 秒点灯 / 0.5 秒消灯 	電源にさし込んだ状態
	充電中	青点滅	0.5 秒点灯 / 1 秒消灯 	電池容量 50%未満
		青点滅	1 秒点灯 / 0.5 秒消灯 	電池容量 80%未満
		青点灯	連 続 点 灯 	電池容量 80%以上
	充電完了	緑点灯	連 続 点 灯  (連続ブザー音: 約 6 秒)	蓄電池の温度が高くて充電できない (温度が下がると自動的に充電を開始)
	高温待機	赤点滅	0.3 秒点灯 / 0.3 秒消灯 	
	充電不可	紫の速い点滅	0.1 秒点灯 / 0.1 秒消灯  (断続ブザー音: 約 2 秒)	

注 一度充電が完了した後、次の充電まで5分程度休ませてください。
同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。

⚠警告

- 使用前に、接続する USB ケーブルが損傷していないことを確認してください。
損傷した USB ケーブルを使用すると、発煙・発火の原因になります。
- 使用しないときは、USB 端子にゴムカバーを被せてください。
USB 端子にほこり等が付着すると、発煙・発火の原因になります。

充電器 UC 18YSL3 には、電動工具用リチウムイオン電池を充電する以外に、一般の USB 機器を充電できる USB 端子を装備しています。

弊社のリチウムイオン電池から携帯電話などの USB 機器を充電することができます。

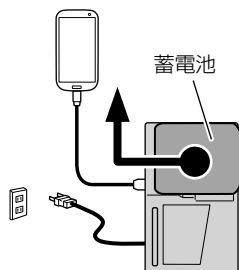
- 注**
- USB 機器と蓄電池の充電を同時に行くと、充電時間が長くなります。
 - USB 充電が途中一時停止する場合があります。
(P.27「充電器使用上のご注意」参照)
 - USB 機器を充電しないときは、USB 電源スイッチを OFF にして、USB 機器を充電器から取りはずしてください。
USB 機器の蓄電池寿命（充電回数）を低くしたり、思わぬ事故の原因になります。
 - USB 機器の種類によっては、充電できない場合があります。

1

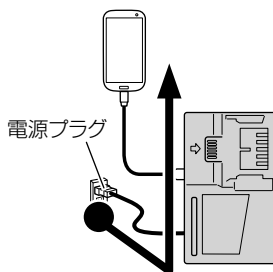
充電方法を選択する

充電方法に応じて、蓄電池を充電器にさし込むか、電源プラグをコンセントにさし込みます。

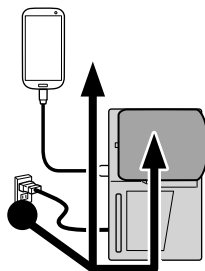
蓄電池から USB 機器を充電



100V コンセントから USB 機器を充電

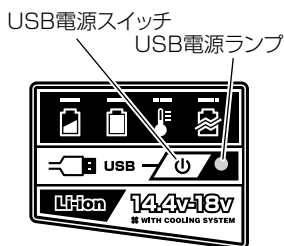


100V コンセントから蓄電池と USB 機器を同時に充電



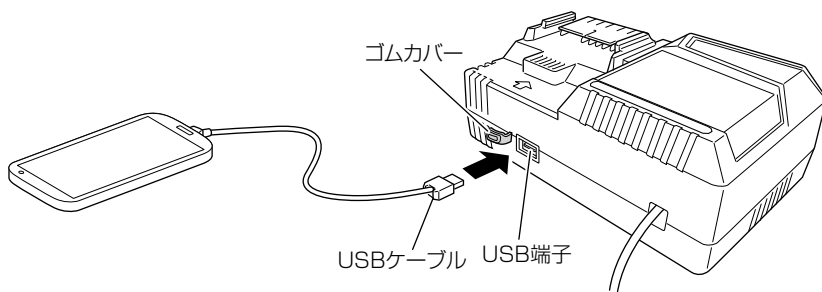
2 USB 電源スイッチを ON にする

USB 電源スイッチを ON にすると、USB 電源ランプが点灯します。



3 USB ケーブルを接続する

ゴムカバーをめくり、ご使用の製品に合った市販の USB ケーブルを USB 端子に奥までしっかりとさし込みます。



- 電源プラグをコンセントにさし込んでいない場合、蓄電池の容量がなくなると、USB 電源ランプが消灯して出力が停止します。
- USB 電源ランプが消灯したときは、電源プラグをコンセントにさし込むか、蓄電池を交換してください。

4 充電が終わったら

- USB 機器の充電が終わっても、USB 電源ランプは消えません。充電状態は USB 機器で確認してください。
- USB 電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 充電器から蓄電池を抜き取り、USB 端子にゴムカバーを被せてください。

充電器使用上のご注意

対応できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
また、蓄電池が原因の場合もありますので、充電器と蓄電池を組でご持参ください。

状 況	原 因	対 策
充電ランプが紫の速い点滅を繰り返し、蓄電池の充電を開始しない	蓄電池が突き当たるまで、さし込まれていない	しっかりとさし込んでください。
	蓄電池の取付部または蓄電池の端子部に異物が入っている	異物を取り除いてください。
充電ランプが赤く点滅して、蓄電池の充電を開始しない	蓄電池が突き当たるまで、さし込まれていない	しっかりとさし込んでください。
	蓄電池が高温になっている	そのままの状態でも、蓄電池の温度が下がると自動的に充電を開始しますが、蓄電池の寿命を縮める原因になります。蓄電池を風通しの良い日かげなどで冷ましてから、充電することをお勧めします。
満充電をしても、蓄電池の使用時間が短い	蓄電池の寿命が尽きた	蓄電池を新品と交換してください。
蓄電池の充電時間が長い	蓄電池や充電器の温度、周囲気温などが極端に低い	室内など暖かい場所で充電してください。
	充電器の風窓がふさがった状態になっているため、充電器内部が高温になっている	風窓がふさがっていないようにしてください。
	冷却ファンが回っていない	販売店に修理を依頼してください。
USB 電源ランプが消灯して、USB 機器の充電が停止した	蓄電池の電池残量が少なくなった	電池残量がある、蓄電池と交換してください。
		充電器の電源プラグを 100 V コンセントにさし込んでください。
USB 機器の充電が完了しても、USB 電源ランプが消灯しない	USB 電源ランプは、USB 機器の充電ができている状態であることを緑色の点灯で表示している	故障ではありません。
USB 機器の充電状態や充電完了がわからない	USB 電源ランプは、充電が完了しても、USB 電源ランプが消灯しない	充電中の USB 機器で確認してください。
USB 機器の充電が途中一時停止した	蓄電池を供給電源にして USB 機器を充電中に、充電器の電源プラグを 100 V コンセントにさし込んだ	故障ではありません。 充電器が供給元電源を判別するため、約 5 秒間 USB 機器の充電を停止します。
	100 V コンセントを供給電源にして USB 機器を充電中に、充電器に蓄電池をにさし込んだ	
蓄電池と USB 機器を同時に充電中、USB 機器の充電が途中一時停止した	蓄電池が満充電となった	故障ではありません。 蓄電池が正常に充電完了したことをチェックしているため、約 5 秒間 USB 機器の充電を停止します。
蓄電池と USB 機器を同時に充電する際、USB 機器の充電が開始しない	蓄電池の電池残量が極端に少ない	故障ではありません。 蓄電池の電池残量があるレベルに達すると、自動的に USB 機器の充電を開始します。

保守・点検

⚠ 警告

点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具体体から抜いてください。
また、充電器は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●ビットの点検

先端部が摩耗したり折損したビットを使用すると、モーターに無理をかけ、能率が落ちたりねじ頭を傷めますので新品と交換してください。

●モーターの取扱いについて

モーター（内蔵）(P.9「各部の名称」参照)に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

注 ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジング後方の風穴から吹き込んでください。
モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

●端子部（工具体体、蓄電池）の点検

⚠ 注意

端子部に切りくず、ほこりがたまっている場合は、取り除いてください。
そのまま使用すると、故障の原因になります。

端子部に切りくず、ほこりがたまっているか点検してください。
作業前、作業後のほかに作業中でも時々点検してください。

●機体の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。
ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります
異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

●清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布を良く絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

●機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

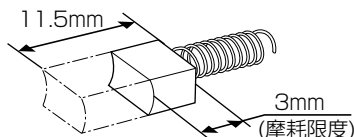
- 注**
- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所
 - 軒先など雨がかったり、湿気のある場所
 - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所
 - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

●カーボンブラシの点検

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しております。カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モーターの故障の原因となりますので、長さが摩耗限度(3 mm ぐらい)になりましたら新品と交換してください。

また、カーボンブラシはごみなどを取り除いてきれいにし、ブラシチューブ内で自由に滑るようにしてください。

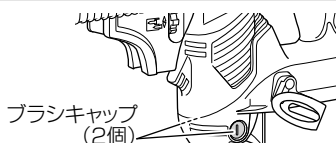
注 新品のカーボンブラシと交換の際は、弊社指定のカーボンブラシを使用してください。



●カーボンブラシの交換方法

1 ブラシキャップをはずす

マイナスドライバーなどで反時計方向に回して取りはずします。



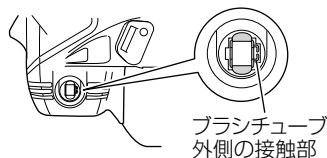
2 カーボンブラシを取り出す

カーボンブラシのツバをマイナスドライバーなどで図のように掛けて、取り出します



3 新しいカーボンブラシを取付ける

図のようにカーボンブラシのツメをブラシチューブ外側の接触部と一致するように方向を定め、指で押し込みます。



注 カーボンブラシのツメは、必ずブラシチューブ外側の接触部に挿入してください(ツメは2か所あるうちのどちらでも良い)。間違えるとカーボンブラシのツメが変形し、モーターの早期故障の原因になります。

4 ブラシキャップを取付ける

ブラシキャップでカーボンブラシを押さえ込みながら、マイナスドライバーなどで時計方向に回して締付けます。

●リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池を輸送する場合、次の点に注意してください。

⚠警告

輸送会社にリチウムイオン電池を含む荷物であること、および電力量を伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。

- 電力量が 100 Wh を超えるリチウムイオン電池の場合は、輸送貨物の分類上、危険物扱いとなり、特別な申請等が必要になります。
- 海外へ輸送する場合、国際法令および輸送先国の規制に従う必要があります。

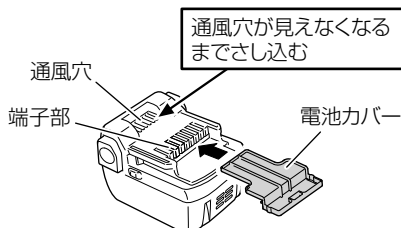


●リチウムイオン電池の保管について

⚠警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡（ショート）して発熱・発煙・発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を必ず守ってください。

- 収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- 短絡（ショート）するのを防ぐため、蓄電池は工具体体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。



注 リチウムイオン電池を保管するときは、満充電にして保管してください。蓄電池の残量が少ない状態で長期間（3か月以上）保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなったり、充電できなくなる恐れがあります。使用時間が著しく低下した蓄電池でも、充電と使用を2～5回繰り返すと使用時間が回復する場合があります。充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命が尽きたとお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などをご記入し、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル

 **0120-20-8822**

※携帯電話からはご利用になれません。

携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待ちする場合があります。

お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部	●北陸支店
TEL (03) 5783-0626	TEL (076) 263-4311
●北海道支店	●関西支店
TEL (011) 786-5122	TEL (0798) 37-2665
●東北支店	●中国支店
TEL (022) 288-8676	TEL (082) 504-8282
●関東支店	●四国支店
TEL (03) 6738-0872	TEL (087) 863-6761
●中部支店	●九州支店
TEL (052) 533-0231	TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認
いただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)

営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>